

# Wedding of the World

世界の結婚



アジェイ・アフリイエ・フランシス  
ADJEI-AFRIYIE, FRANCIS



ガーナ共和国 ナイジェリア  
連邦共和国



オクコンヨン・エフィヨン・エディット  
OTUKONYONG, EFFIONG EDET

## 座談会

# the World



タオ リファ  
陶 立作

パテル・アルン・バイ  
PATEL, ARUN BHAI



中華人民共和国

日本国 両国市

インド

バングラデシュ  
人民共和国

ルチマト・トニ  
RUCHIMAT, TONI



インドネシア共和国



モスタファ・モハメド・グラム  
MOSTAFA, MOHAMMED GULAM

七月六日、広報委員会は南国市に住んでいる外国人留学生六人と座談会を行いました。テーマは『世界各国の結婚あれこれ』。各国それぞれ言葉や風習などは違いますが、「結婚・子育て」は共通の関心事だと、留学生本人の体験をもとに、お国の結婚などについて語っていただきました。

# 各国の結婚模様 etc...

## 卵を踏んで、花嫁に洗ってもらおう …インドネシア共和国

西ジャワ島でのケースを紹介いたします。ほとんどが恋愛結婚です。男性の父親が女性の側の両親に結婚を申し込み、娘が返事をして日取りなどが決められます。準備は若い二人で進めますが、親の責任で結婚の経費などが負担されます。結婚する日の前日に、宗教に関係なく二人の体が洗われます。結婚の品の一つはココナツで、捨てる卵が全燃ないココナツのような人になり、国のため家族のため頑張るように、との思いが託されています。

回教徒の場合、一日目にコーランでのお祈りがあります。二日目には契約書にサインし、男性から女性にプレゼントをします。その品物名をみんなの前で言わなければならないので、親が知っている人と結婚することに、たとえ自分が一度も会ったことのない相手であっても問題はないと考えています。最近では経歴を示し、新聞・雑誌で公に仕立てて新しい出会いを求めるケースもありますが、それでも両親の意見は重要で、式はお祝いなどを含めて、家か寺で一週間は行います。女性の家で語があり、首飾りを女性にプレゼントします。女性はこの首飾りを生涯常時身につけています。離婚はほとんどありません。女性の側は、男性の仕事や収入を重視します。大家族主義で家族で助け合って生活します。結婚に習習や契約書はありません。たぐさんの人の前で披露するわけですからその必要がないと考えられています。



## 両親の決めた人と結婚! 子どもは親の一部だから …インド

人口が八億の私の国は、宗教が七、人種が三、たぐさんの民族、そして言語が十七あります。恋愛結婚はほとんどありません。親同士が話し合って決めた結婚をするのが普通です。子どもは親の一部と考えているので、親が知っている人と結婚することに、たとえ自分が一度も会ったことのない相手であっても問題はないと考えています。最近では経歴を示し、新聞・雑誌で公に仕立てて新しい出会いを求めるケースもありますが、それでも両親の意見は重要で、式はお祝いなどを含めて、家か寺で一週間は行います。女性の家で語があり、首飾りを女性にプレゼントします。女性はこの首飾りを生涯常時身につけています。離婚はほとんどありません。女性の側は、男性の仕事や収入を重視します。大家族主義で家族で助け合って生活します。結婚に習習や契約書はありません。たぐさんの人の前で披露するわけですからその必要がないと考えられています。



## ひとりの子どもを大切に育てます …中華人民共和国

56の民族からなる12億の国民には、それぞれの結婚の仕方があります。合同結婚式で200カップルが一緒にお祝いすることもあり、結婚後も男性女性ともに働きます。国が教育に力を注ぐキャンペーンを行っていて、大変多くの宿題が出されるなど、子どもたちも一生懸命勉強しています。また、一夫婦に子ども一人の政策が進められています。子どもたちは未婚・既婚、親との同居・別居に関係なく、両親や年長者を大切にします。このことは、国の決まりとして規定されています。子育てには祖父母も協力します。伝統の中に残っている中国の結婚は、お互いに愛・尊敬・気配り・忠誠を求められます。結婚したカップルは、つらい時も苦しい時もともに歩み続けます。そういうわけで、中国の結婚は、比較的安定していて離婚率は低いのです。男女が平等に生きていくという意味のことわざ「空の半分は、女性のものだ」というのがあり、そのことを表しています。



## 契約書のとりの結婚生活で安心 …バングラデシュ人民共和国

私の国では通常、回教の教えに従った結婚が行われます。私の場合は三日間、花嫁と花婿のそれぞれの家で、友人などを招いてお祝いしました。教えのとおり、お酒は飲みませんが、花嫁にタマリック(薬草・ヨーン草)をクリーム状にして、顔に塗り、きれいになります。いつもしているお化粧とは違った、結婚の日のためのものです。結婚のための役所に新婚二人の契約書を提出します。この契約書には、二人の気持ちや誓い、離婚後の条件(たとえば養育費の額)なども記入され、一生これを守りとおすこととなります。この契約書は、式場にあるそれぞれの部屋でサインされ、それが決むと、やっと同席できます。大きな首飾りを交換するのが習慣となっています。



## 男は甲斐性、女は家庭で子育てを …ガーナ共和国

男性が働き、女性は家庭で子育てに専念する、というシステムが充実していましたが、今は少し変化しつつあります。女性の側が男性の調査を十分します。どんな仕事をしているかは重要で、男性の力の具合をいろいろな観点からチェックするといえます。結婚後の生活を見極める大事なことなのです。恋愛とお見合いの両方の結婚があります。結婚が決まると、両家の間で有の交換がされ、輸入の酒やそれ相当の物の交換が行われます。結婚後の生活についても両家の家族で相談します。男性側が要求されるものは、現金・牛・とり・布・衣装・スニーカー・ミシン・台所用品などです。男生は二十歳、女性は二十五歳くらいで結婚し、指輪の交換が愛の証となり、出迎は最大の祝福を受けます。子どもは単に家系の継承だけでなく、平和・財産・誇りある民族の次世代の種でもあるとみなされます。



## リストが語る結婚の条件 …ナイジェリア連邦共和国

民族は約250あり、キリスト教・回教・その他の宗教によってそれぞれの結婚をしますが、女性と男性の宗教が異なる場合は、女性が改宗します。見合いでの出会いは、まずありません。恋愛が始まると両家の家族の同意を得ます。その後、1年から3年の間お付き合いが必要です。そして、妻側から夫側に対して、生活用品のリストが提示されます。夫側がすぐにこのリストとおりの対応ができない時は、結婚とはならず、双方の話し合いでリストを縮小したり、あるいはその準備ができるのを待って結婚することになります。結婚式は各民族で異なりますが、村の広場や家の周りでそれぞれの民族衣装を着てお祝いします。新婚の二人は、コートと呼ばれるところで結婚の登録をしてから、花嫁はウエディングドレスを着て教会へ行き、誓詞・指輪の交換をします。宴会は有名ホテルか、レストランで生バンドを呼んで、にぎやかに踊ったり、歌ったりして祝います。



## 座談会を終えて…

**司会** 本日に楽しい対談ができました。それぞれの国の特徴といったものを「結婚」という、もっとも重要な生涯の出会いをお話して語っていただいたという感じがしますが、ご感想は?

**委員長** 各国とも宗教に大きく影響された結婚をしているという気がしました。そういえば日本も無意識のうちに宗教の中で生活しています。洋式であったり和式であったりです。内容はタツプリでしたが、紙面の都合ですべてを掲載できないのが少し残念です。

**司会** 参加者には、申しわけなく思っています。

**委員長** 南国市に住み、学んでいる外国の若者がより多くの成績を得て、世界の平和と繁栄に貢献していただけるよう期待しています。



SEE YOU AGAIN!